

1 Baroque Pedalboard IIIについて

自らクラヴィコードの原理により、音を出す Baroque Pedalboard III は部分的に16フィートにしていますが、今後8フィートに揃える予定です。これにより、途中のブレイクはなくなります。高音の方は音は良くありませんが、音程がつかみやすくなります。

2 2005年クラヴィコードと今後の予定

2005年のtypeIIのクラヴィコードはすべて次の仕様となっています。

1 F以下の低音に巻き弦を使用

2 チューニングピンを4～5度傾ける（これは音に大きな違いを生じます。）

3 ケースに樺材を使用

4 タンジェント、弦、ヒッチピン、ブリッジピン、チューニングピン、バランスピン、バックピンを油で一度熱し、ゆっくりさまして使用。てんぷらを揚げる温度なので、完全な焼き鈍しの温度よりはるかに低い温度です。このため、弦の抗張力はほとんど落ちていない模様です。タンジェント、弦等の真鍮は大きな差が現れますが、鉄については今の所、効果が確認できません。全く関係ないのかもしれませんが。

5 ナチュラルキーに、厚みにテーパーのついたキートップを使用。つまり、ナチュラルキートップの厚みは、キーヘッドの手前で3.0mm～奥で2.5となり、キーテールの手前で1.2～途中で0mmとなっており、キーテール部分がちょうど真中あたりまでしかありません。見かけはよくありませんが、優れた反応を示します。

以上につて、詳細と、試した結果について、Hubert Gasse（英文）に追加予定です。とりあえず、2007年のマニャーノの国際クラヴィコードシンポジウムに向けて用意します。2006年のno3以降はとてもきれいな木目の国産樺材（北海道）を使い同様な仕様で製作します。

3 2005年ヴィクトリアチャペルコンサート『オルガンの散歩』等のご案内

高い天井、明るいステンドグラス。広い大理石の床。このチャペルはもともと1867年英国 barrowford に建てられたハイヤーフォードメソジスト教会。築後129年目にして、区画整理に合い、取り壊される事に。取り壊しに際しては、レンガ一個一個に番号を付け八王子へ移送後、細部まで元通りに建てられました。最高部15mのアーチ状の天井、左右に離れて並ぶ円柱列。このシンプルでがらんとした大きな空間ではオルガンや各種弦楽器等の響きが空間いっぱいに広がります。このすぐれたヨーロッパ建築は、初期の音楽、おおよそ17世紀以前の音楽の演奏を可能とするばかりでなく、私達が普段の生活の中に生の音楽をもう一度置く、一つのきっかけを提供する事と存じます。市民の手によるささやかな会ではございますが、ご案内申し上げます。

オルガン散歩の会（山野辺）

・・・「オルガンの散歩」は楽器運搬／チラシ印刷／お茶等のサービス、をする多くのボランティアスタッフ、それに、「コンサートを身近なものにしよう。」という主旨に賛同して下さった演奏家の皆さん、そして、「身近に音楽を楽しもう。」というお客さまによって支えられています。

2005年 10月7日（金）オルガンの散歩その6

第1部 アンサンブル 17世紀初頭1600年～1610ごろのイタリアの器楽曲を中心に
violino, viola, cello, cello, arciliut, spinetta italiana, organo positivo
高校生から社会人までのアマチュアのアンサンブルです。

第2部 オルガンの響き 17、18世紀のオルガン音楽 三重野清顕、永井保成

第3部 ヴァージナルブックより 吉見伊代

2005年11月17日（木）オルガンの散歩その7

大塚直哉 クラヴィコードリサイタル

J.S.バッハ、モーツァルト、エマニュエル・バッハ他

この回においては、チャペル内2階になるべく多くの椅子（40席程）を用意する予定です。早めにいらして

下さった方は、ぜひ2階席をお試し下さい。

於 八王子ホテルニューグランド チャペル グランドヴィクトリア
各回とも6時30分開演
すべて入場無料 直接会場へお越し下さい
このコンサートについてのお問い合わせも下記へお願いします。

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘 1-38-1
tel/fax 0426-35-3784 山野辺